

もっと知ろう “陶”

6、秋祭り

10月になると水上神社、大川八王子神社、猿爪天神社の順に秋祭り（秋季例大祭）が行われます。

猿爪天神社の大祭は、以前は9月25日（毎月25日は「天神さんの日」で菅原道真公の御誕生日である6月25日と薨去（こうきょ）された2月25日に由来）に行われていましたが、台風と重なることが多く10月に変更になりました。10月に変更したものの雨の日が多いのは道真公の涙か。最も天神さんは雷雨の神様でもありますが…。



陶の神社の歴史は古く、天神社は、前身の北野神社が天文十六年（1547年）創立といわれており、猿爪村は明知遠山領の時代です。この年は松平竹千代（後の徳川家康）が人質として駿府の今川へ向かった年です。水上神社は、前身の諏訪神社に慶長二年（1597年）再建の棟札が残っています。豊臣秀吉の側近である森氏による支配の時期です。この年は豊臣秀吉による2度目の朝鮮出兵（慶長の役）がありました。八王子神社は、元禄十四年（1701年）再建の棟札が残っています。天領の時代で笠松の代官による統治の時代です。この年は忠臣蔵の序章 江戸城松之廊下で刃傷事件が起こりました。

いずれの神社も300年以上の歴史をもつ由緒ある神社です。

私たちの祖先は、農作物の実りに対する感謝の儀式としての秋祭りを、収穫物・酒などを持ち寄り細々と行っていました。そのうちに村人の娯楽という面も加わり、村芝居・俵あげなどの催しも行われるようになっていきました。村人はそんな祭りを長い間守り伝えてきました。秋祭りは、今後も形を変えながらも創意と工夫で、人が住んでいる限り続けられていくことでしょう。